



■困った子どもの行動の例

片付けをしてくれない



例) 片付けの時間

■うちの子のできているところを探しましょう！

	できる	時々できる	できない
おもちゃをだす	●		
おもちゃで楽しく遊べる	●		
自分で出せないおもちゃを出してほしいと言う	●		
おもちゃは、丁寧にあつかう	●		
片づけを促すと「はい」と返事をする	●		
「一緒に片付けて」とお願いする	●		
手伝うと片づけをする		●	
一人で、おもちゃを片付ける			●

子育てヒント

親の一貫しない態度 子どもが混乱します！

子どもの困った行動のほとんどは、意図的なものではありません。子どもは、日々学んでいる最中です。親は、子どもが理解しやすいように何が良い行動か？何が悪い行動か？教えることが大切になるでしょう。



気をつけましょう

例) 片付けをする時間

ママから昨日は「片付けしなくてもいいから早くお風呂に入りなさい」と言われた。でも、今日は片付けをしないでお風呂に入ろうとしたら、怒られた。

親の気分や気まぐれで対応が変わると、子どもは良い行動を学ぶ機会が少なくなります。



例題の「片付けの時間」で考えてみましょう。

## ■前向き子育てのコツ

### 具体的にほめる

できたこと（増やしてほしい行動）を見つけたら、その場でほめます。「すごいね」「さすがだね」というほめ言葉もあります。さらに、子どもに、もっと伝わりやすくする為には、子どもに近づいて具体的にその行動をほめると良いでしょう。（子どもの行動をほめる時も教える時も、子どもの目の高さに合わせると伝わりやすくなります）。

※子どもが片付けたいと思う気持ちへ繋がるように子どもの良い行動に注目し、具体的にほめましょう。そして一人で片づけが身につけられるようにスモールステップで進めましょう。

例) 「ママと一緒に上手に片付けてきてるね」「遊んだら片付けするって、覚えていたんだね」

**親が注目するのは、子どもの良い行動です！子どもは、注目される行動を繰り返す傾向があります**

具体的にお子さんの場合を考えて書いてみましょう。

■ \_\_\_\_\_ くん(ちゃん) \_\_\_\_\_ ができたね。

## ■前向き子育てのコツ

### 子どもが考えて動く



目標：○おもちゃを片付ける（子どもに身に付けてほしい行動を前向きに表現にします。）

×おもちゃを出しっぱなしにしない

子どもが家庭の基本ルールをうっかり忘れた時に、効果があります。

子どもが比較的落ち着いている時に使います。近づいて、子どもの名前を呼び、問題は何かを言う。

なぜそれが問題なのかを言う。どうすべきだったかを子どもに尋ねる。そして練習していきます。

対話による指導の使い方	例) おもちゃを片付ける
子どもの注意をひく（子どもの腕の長さに近づく）	親「たろう君」
問題を簡単に、落ち着いて言う	親「おもちゃをそのままにしているわね」
なぜ悪いのかを手短かに説明する	親「おもちゃを床に広げたままでは、けがをするかもしれません。遊び終わったらどうする？」
正しい行動を子どもに言ってもらう（分からない時は説明する）	子「片付ける」親「そのとおり」
子どもに正しい行動を練習させる	親「やってみて」
子どもの正しい行動をほめる（この場合は、淡々とほめる）	親「たろう君、おもちゃが片付けられたね」



■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568  
(前向き子育て 担当 石橋)

科学研究費助成事業（責任者 福岡県立大学 江上千代美）  
無断複写・複製を禁ず